ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

ESHAP+【BS】Rituximab療法

____週毎____コース予定

疾患名 悪性リンパ腫

主治医

指導医

HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()

スケジュール

		day1	2	3	4	5	6
リツキシマブBS・	375 mg/m ²	↓					
メチルプレドニゾン	500 mg/body		↓	↓	↓	↓	↓
エトポシド	40 mg/m ²		↓	↓	↓	↓	
シスプラチン・	25 mg/m ²		→	→	→	→	
シタラビン・	2000 mg/m ² ・						↓

- 【注意】
- * リツキシマブ施行時は体温・脈拍・血圧測定・SpO2 測定はup直前におこなうこと
 - * 初回投与時など腫瘍量が多い場合、尿量確保のため適宜補液を追加し、キサンチンオキシダーゼ阻害薬内服を考慮。
 - * シスプラチンはインフュージョンポンプを使用して4日間持続静注する。遮光すること。
 - * 治療中は、ステロイド点眼を行う。
 - * エトポシドは溶解後結晶が析出するため用時100mgを輸液250mL以上で溶解（濃度0.4mg/mL以下の濃度になるように）し、30～60分で点滴静注するのが望ましい。またDEHPフリー点滴セット（フィルターなし）を使用する。

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

Day1

【初回のみ】 * 初回投与は必ず入院で実施

① イブプロフェン(100 mg) _____錠 デザレックス(5 mg) _____錠 内服

☆ 30分後より

② 生食 500 mLにて血管確保・ _____維持(20 mL/時間)

③ リツキシマブBS + 生食 適量(10倍希釈)・

◎ 輸液ポンプにて 50 mL/時間 で点滴静注

* 注:総量 600 mLを超える時はテルモ生食 1Lを使用

- ④ 50 mL/時間で 30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間 で点滴静注
- ⑤ 100 mL/時間で 30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 150 mL/時間 で点滴静注
- ⑥ 150 mL/時間で 30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 200 mL/時間 で点滴静注
- ⑦ 200 mL/時間で 30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 250 mL/時間 で点滴静注
- ⑧ 250 mL/時間で 30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 300 mL/時間 で点滴静注
- ⑨ 300 mL/時間で 30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 350 mL/時間 で点滴静注
- ⑩ 350 mL/時間で 30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 400 mL/時間 で点滴静注

【2回目以降】 第1サイクルにおいて発現した有害事象がGrade 2以下であった場合

- ① イブプロフェン(100 mg) _____錠 デザレックス(5 mg) _____錠 内服
- ☆ 30分後より

- ② 生食 500 mLにて血管確保・ _____維持(20 mL/時間)
- ③ リツキシマブBS + 生食 適量(10倍希釈)・
 - ◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間 で点滴静注

* 注:総量 600 mLを超える時はテルモ生食 1Lを使用

- ④ 100 mL/時間で 30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 200 mL/時間 で点滴静注
- ⑤ 200 mL/時間で 30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 300 mL/時間 で点滴静注
- ⑥ 300 mL/時間で 30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 400 mL/時間 で点滴静注

Day 2 抗がん薬投与1時間半前にアプレピタントカプセル(125mg) 1C 内服

- ① 生食 500mLで血管確保 維持(20mL/時間)
- ② メチルプレドニゾロン注 500mg + 生食 100 mL 点滴静注 30分
- ③ グラニセトロン注 3mg 1筒・ ④の30分前 静注
- ④ エトポシド + 5%ブドウ糖液 250mL 点滴静注 60分
- ⑤ シスプラチン + 生食 適量 (全量500mL) 24時間持続点滴 (20mL/時間)
- ⑥ オランザピン 5 mg 1錠 1×タ 内服(※糖尿病患者は禁忌)

Day 3 - 5

- ① 生食 500mLで血管確保 維持(20mL/時間)
- ② メチルプレドニゾロン注 500mg + 生食 100 mL 点滴静注 30分
- ③ グラニセトロン注 3mg 1筒・ ④の30分前 静注
- ④ エトポシド + 5%ブドウ糖液 250mL 点滴静注 60分
- ⑤ シスプラチン + 生食 適量 (全量500mL) 24時間持続点滴 (20mL/時間)

Day 3 - 4 アプレピタントカプセル(80 mg)1C 1×朝 内服

Day 3 - 5 オランザピン 5 mg 1錠 1×タ 内服(※糖尿病患者は禁忌)

Day 6

- ① 生食 500mLで血管確保 維持(20mL/時間)
- ② メチルプレドニゾロン注 500mg + 生食 100 mL 点滴静注 30分
- ③ グラニセトロン注 3mg 1筒・ ④の30分前 静注
- ④ シタラビン + 生食 350mL・ 点滴静注 120分

* 生食 150mLをバッグから前もって抜いておく

ESHAP+【BS】Rituximab療法

	day1	day2	day3	day4	day5	day6
月日	/	/	/	/	/	/
リツキシマブBS 開始時刻	↓					
メチルプレドニゾン 開始時刻		↓	↓	↓	↓	↓
エトポシド 開始時刻		↓	↓	↓	↓	
シスプラチン		→	→	→	→	
シタラピン 開始時刻						↓
確認						

	day1	day2	day3	day4	day5	day6
月日	/	/	/	/	/	/
リツキシマブBS 開始時刻	↓					
メチルプレドニゾン 開始時刻		↓	↓	↓	↓	↓
エトポシド 開始時刻		↓	↓	↓	↓	
シスプラチン		→	→	→	→	
シタラピン 開始時刻						↓
確認						

	day1	day2	day3	day4	day5	day6
月日	/	/	/	/	/	/
リツキシマブBS 開始時刻	↓					
メチルプレドニゾン 開始時刻		↓	↓	↓	↓	↓
エトポシド 開始時刻		↓	↓	↓	↓	
シスプラチン		→	→	→	→	
シタラピン 開始時刻						↓
確認						